



## 令和8年度東京都立田無特別支援学校学校経営計画

本校は高等部単独校であり、多くの生徒が卒業後、地域の福祉作業所・企業等に就職する。そして生徒には明るく安心して学校生活を送ってほしい。そのことから本校の目指す学校は「**社会を生き抜く力を育み、地域と共に歩む明るく安心安全な学校**」とする。

生徒自身がその持てる力を向上させるため、教職員は根拠に基づき行動し、一人一人に応じた適切な指導の充実を図るとともに、保護者・地域と連携した明るく安心・安全な学校をつくる。

## I 目指す学校

「社会を生き抜く力を育み、地域と共に歩む明るく安心安全な学校」

- ・ 社会生活に必要な力を身に付けさせる学校。
- ・ 地域と共に共生社会の実現に寄与する学校。
- ・ 生徒が主体的に明るく生き生きと活動し、安心安全な学校。

## II 中期的目標と方策

- 1 社会生活に必要な力を身に付けさせる学校。
  - (1) 知的障害教育の専門性の向上
  - (2) 自立に向け、一人一人に応じた社会参加を見据えたキャリア教育の推進
  - (3) ICT機器を用いた多様な学びの推進
  - (4) アセスメント結果や障害特性を踏まえた根拠ある教育の実践
- 2 地域と共に共生社会の実現に寄与する学校（地域に貢献・地域へ発信）
  - (1) 地域に貢献する学習活動の推進。
  - (2) 地域と共に歩む、地域と協働した取組
  - (3) 保護者・地域への情報発信、障害理解の啓発
- 3 生徒が主体的に明るく生き生きと活動し、安心安全な学校
  - (1) 人権に配慮した(体罰根絶・いじめ防止)活動の推進
  - (2) 自己肯定感の向上、相手への思いやり、豊かな心の育成を図る。
  - (3) 防災・防犯に向けた取り組みの強化
  - (4) 教職員のコンプライアンス意識(サービス事故防止)の醸成

## III 今年度の目標と方策

**重点目標**：「個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指す」

- すべての教員が特別支援教育の専門性をたかめ、アセスメント結果や障害特性に応じた根拠ある指導の実践
- 地域と連携した学習活動の推進「地域に貢献、地域へ発信」
- 教室等学習環境の構造化(物品の整理整頓・スペースの確保・行き届いた清掃)
- デジタル機器を活用した教育活動の実践と充実

## 1【学習指導】

- (1) 授業担当教員のICT機器を使用した一人一回研究授業の実施。
- (2) 教員間で学び合う授業報告会(ポスター報告)の実施(夏季休業中)と活用。
- (3) スケジュール、コミュニケーション手段の確立に向けた取り組み。絵カード等視覚支援の充実を図る。
- (4) 生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実践するため支援方法を専門家から学び実践する。
- (5) 評価規準(知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう態度)を使用した評価
- (6) 「東京グローバル人材育成計画」及び「東京グローバル人材育成指針」を踏まえ、「多様な価値観をもつ人々と協力・協働する力」を身に付けさせるため、地域の人々への貢献をとおして、自ら考えて行動する中で生まれる有能感や達成感を育成する学習教育を推進する。作業学習の製品販売や清掃活動を積極的に行い、地域貢献を行う。
- (7) 外部専門員の助言を受け、Vineland-II・J☆sKep・TTAP等の生徒のアセスメントを行い、個々の学習課題を明確化し、個に応じた学習を構築し授業実践に生かす。
- (8) 外部専門員を活用した図書館・図書コーナーの充実とともに、ポップコンテストの実施や読書活動や言語活動の充実を目指す。
- (9) 花や野菜を育て植物について学び、校外で花や草木を植え、明るい学校・地域作りを推進する。
- (10) デジタル技術(ICT機器等)を活用した分かりやすい指導を推進するとともに、ICT機器を活用した教材を積極的に作成し、情報教育の研修を充実させる。
- (11) 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を参考に、生徒の体力向上及び健康の保持増進を行う機会をつくる。

## 2【生活指導】

- (1) いじめ根絶の指導体制を構築し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行い、生徒一人一人が友達や他者を思いやる気持ちを育む教育を推進する。
- (2) 人権に配慮した教育活動の実施、生徒の障害特性や発達段階に応じた人権教育を推進する。
- (3) いじめ総合対策【第3次】を踏まえたいじめに関する授業・研修を実施する。
- (4) 不登校等の学校生活等で指導上対応が難しい生徒に対して、迅速に校内支援委員会を開き、必要に応じて、外部専門員を活用しながら課題解決を図る。
- (5) 避難訓練や防災訓練等、自然災害(地震、風水害)に関する学校の安全に関する危機を想定し、防災教育推進委員会を活用して、地域等と連携した防災等危機管理体制を構築する。
- (6) 自殺対策基本法の改正を踏まえ、SOSの出し方に関する教育を実施し、相談先の周知を行う。

## 3【進路指導】

- (1) 生徒の実態に応じた進路指導の充実のため、実習評価表を基にした、自己理解と目標を設定し、キャリア教育の推進を図る。
- (2) 社会生活に必要な「社会性(挨拶、返事、態度、マナー等)」「学力」「体力」について学校生活全体をとおして指導し、基礎的な生活力や規範意識を高めるとともに、生徒のキャリア発達を目指す。
- (3) 福祉就労、企業就労等、生徒の実態やニーズに応じた多様な進路先を確保する。
- (4) 市役所・企業等関係機関と連携し生徒、保護者への進路指導を充実させるとともに、将来設計に関する情報提供を行う。
- (5) ハローワークと連携しながら積極的に企業開拓を行い、生徒が挑戦できる機会を提供し、企業就労率の向上を目指す。

#### 4【学校運営と人材育成】

- (1) 校務分掌や学年業務等組織的な業務のシェア化を進め、業務の効率化・合理化を図る。(分掌業務分担表の見直しと作成)
- (2) 「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」を踏まえ、長時間労働を是正し、時間外労働時間が1か月45時間以内となるように進め、定時退勤日を毎月1回程度設定し、定時の退勤を徹底する。
- (3) 特別支援教育の推進に向け、地域の小・中学校等や支援ネットワークを組む高等学校の特別支援教育を充実させる。
- (4) 学校ホームページや情報伝達メール等を活用し、生徒、保護者、地域等に迅速かつ正確な学校情報を伝え、信頼ある学校を目指す。
- (5) 主幹教諭連絡会を週1回程度、学校経営会議を5回/年開催し、学校の教育課題の整理や改善策等を検討し、方針の案を作成する。
- (6) 教室等教育環境(学びの場)を整備し、障害特性に応じた教育環境(環境の構造化等)を充実させる。(年2回の教室、特別教室、倉庫等の一斉清掃日の設定)
- (7) コンプライアンス(法令遵守、ルールに従った公正・公平な業務の遂行等)を遵守し、服務事故など生徒、保護者、地域、都民に信頼されるよう職務や業務を遂行する。
- (8) 挨拶・接遇・服装等東京都の公務員(社会人)としてふさわしい業務を進める。特に、教員及び経営企画室職員の電話対応、窓口対応では保護者等相手が安心感・信頼感をもつことができるように対応する。
- (9) 学校施設、教育環境、準備室等の点検・改善(老朽化対策、美化)を行う。

#### 5【特別活動・その他】

- (1) 学級活動・学校行事において、生徒の主体的・意欲的な活動を推進する。
- (2) 体育的行事(体育祭・長距離走記録会等)・文化的行事(文化祭・美術展示等)を組織的に運営し、生徒の主体的な活動を計画的に実施する。
- (3) 校外学習、宿泊行事等の校外での学校行事を組織的に運営し、安全に校外での活動を計画・実施するとともに、集団活動の大切さを理解させ、生徒の主体的な活動を計画的に推進する。
- (4) 部活動をとおして、生徒の主体性を養い、音楽等芸術活動やスポーツの技能の向上を目指すとともに集団行動を学ぶ。
- (5) 地域に向けて生徒の活躍を発信する機会を持つ。
- (6) 年間30日以上欠席がある生徒を減らし、生徒が笑顔で登校できる機会を提供する。

##### 田無の約束

「素直な心、優しい心、つながる心、あいさつから」

- ① 素直な心(素直:謙虚な気持ちを大切に)
- ② 優しい心(愛情:自分も他の人も大切に)
- ③ つながる心(信頼:絆(きずな)を大切に)

希望の実現は「あいさつ」から



#### IV 今年度の重点目標と方策、及び数値目標（結果は年度末に記載）

※学⑦：学校評価アンケート 保：保護者 教：教員 生：生徒

※◎：目標 100%達成 ○：70～90%程度達成 △：40～60%程度達成 ×：30%以下達成

【結果は◎、○、△、×も記入】

##### 1 【学習指導】

方 策	数値目標	結果
授業担当教員の I C T機器を使用した一人一回研究授業の実施。	授業担当教員 100%の実施	
教員間で学び合う授業報告会(ポスター報告)の実施(夏季休業中)と活用。	教員によるポスター報告 100%	
スケジュール、コミュニケーション手段の確立に向けた取り組み。絵カード等視覚支援の充実を図る。	全クラス、スケジュール表の掲示 100%	
生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実践するため支援方法を専門家から学び実践する。	一人一回研究授業での参観チェックリスト項目「生徒の主体的に・・・」実施済 80%以上	
評価規準(知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう態度)を使用した評価	個別指導計画の評価欄への記載 100%	
「東京グローバル人材育成計画」及び「東京グローバル人材育成指針」を踏まえ、「多様な価値観をもつ人々と協力・協働する力」を身に付けさせるため、地域の人々への貢献をとおして、自ら考えて行動する中で生まれる有能感や達成感を育成する学習教育を推進する。作業学習の製品販売や清掃活動を積極的に行い、地域貢献を行う。	作業学習による、校外での販売・清掃・喫茶等の活動 25回以上	
外部専門員の助言を受け、Vineland-II・J☆sKep・TTAP等の生徒のアセスメントを行い、個々の学習課題を明確化し、個に応じた学習を構築し授業実践に生かす。	一人一回研究授業での略案にアセスメント結果を記載する 100%	
外部専門員を活用した図書館・図書コーナーの充実とともに、ポップコンテストの実施や読書活動や言語活動の充実を目指す。	ポップコンテスト実施 図書貸出冊数 170 冊以上	
花や野菜を育て植物について学び、校内外で花や草木を植え、明るい学校・地域作りを推進する。	校門前花壇の手入れ通年 入学式・卒業式に育てた花を添える。 地域施設等の花壇手入れ 2回以上	
デジタル技術 (ICT 機器等) を活用した分かりやすい指導を推進するとともに、ICT 機器を活用した教材を積極的に作成し、情報教育の研修を充実させる。	一人一回研究授業で I C T機器の使用率 100% 一人一台端末の授業等平均使用回数 45 回/年以上	
「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を参考に、生徒の体力向上及び健康の保持増進を行う機会をつくる。	各学年体力テストの実施。 アスリート交流など年間 1 回以上実施	

## 2 【生活指導】

方 策	数値目標	結果
いじめ根絶の指導体制を構築し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行い、生徒一人一人が友達や他者を思いやる気持ちを育む教育を推進する。	ふれあいアンケート3回実施。	
人権に配慮した教育活動の実施、生徒の障害特性や発達段階に応じた人権教育を推進する。	人権研修3回以上 学⑦生Q3肯定率87%以上	
いじめ総合対策【第3次】を踏まえたいじめに関する授業・研修を実施する。	全校研修を2回以上。 いじめに関する授業を各学期末のHRで実施	
不登校等の学校生活等で指導上対応が難しい生徒に対して、迅速に校内支援委員会を開き、必要に応じて、外部専門委員を活用しながら課題解決を図る。	校内支援委員会を年9回以上 SCとの面談38回以上	
避難訓練や防災訓練等、自然災害（地震、風水害）に関する学校の安全に関する危機を想定し、防災教育推進委員会を活用して、地域等と連携した防災等危機管理体制を構築する。	防災教育推進委員会2回 地域と連携した総合防災訓練1回、避難訓練11回	
自殺対策基本法の改正を踏まえ、SOSの出し方に関する教育を実施し、相談先の周知を行う。	SOSの出し方を学期末のHRで実施3回/年 SCへの相談窓口を年間通して開設。	

## 3 【進路指導】

方 策	数値目標	結果
生徒の実態に応じた進路指導の充実のため、実習評価表を基にした、自己理解と目標を設定し、キャリア教育の推進を図る。	田無マイ・キャリアデザインを2.3年企業就労希望生徒全員実施	
社会生活に必要な「社会性（挨拶、返事、態度、マナー等）」「学力」「体力」について学校生活全体をとおして指導し、基礎的な生活力や規範意識を高めるとともに、生徒のキャリア発達を目指す。	学⑦保護者Q5肯定率90%	
福祉就労、企業就労等、生徒の実態やニーズに応じた多様な進路先を確保する。	福祉就労・企業就労を希望する生徒の福祉就労率・企業就労率100%	
市役所・企業等関係機関と連携し生徒、保護者への進路指導を充実させるとともに、将来設計に関する情報提供を行う。	・関係機関と連携し、年5回の保護者学習会を実施 ・4市と地域別懇談会を実施 ・学⑦保Q7肯定率90%以上	
ハローワークと連携しながら積極的に企業開拓を行い、生徒が挑戦できる機会を提供し、企業就労率の向上を目指す。	・企業開拓90社以上 ・企業就労率30%以上	

#### 4 【学校運営と人材育成】

方 策	数値目標	結果
校務分掌や学年業務等組織的な業務のシェア化を進め、業務の効率化・合理化を図る。(分掌業務分担表の見直しと作成)	各分掌統一した仕事分担表の作成 100% 来年度への引継ぎ項目記載 100%	
「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」を踏まえ、長時間労働を是正し、時間外労働時間が1か月45時間以内となるように進め、定時退勤日を毎月1回程度設定し、定時の退勤を徹底する。	時間外労働時間 45H以内 90%以上 毎月1回の定時退勤日設定	
特別支援教育の推進に向け、地域の小・中学校等や支援ネットワークを組む高等学校の特別支援教育を充実させる。	近隣の学校など年間20回の支援	
学校ホームページや情報伝達メール等を活用し、生徒、保護者、地域等に迅速かつ正確な学校情報を伝え、信頼ある学校を目指す。	ホームページ年間100回以上更新。情報伝達メール50回以上	
主幹教諭連絡会を週1回程度、学校経営会議を5回/年開催し、学校の教育課題の整理や改善策等を検討し、方針の案を作成する。	主幹教諭連絡会1回/週 学校経営会議5回/年	
教室等教育環境(学びの場)を整備し、障害特性に応じた教育環境(環境の構造化等)を充実させる。(年2回の教室、特別教室、倉庫等の一斉清掃日の設定)	全校清掃日2回実施	
コンプライアンス(法令遵守、ルールに従った公正・公平な業務の遂行等)を遵守し、サービス事故を根絶し生徒、保護者、地域、都民に信頼されるよう職務や業務を遂行する。	サービス事故「0」	
挨拶・接遇・服装等東京都の公務員(社会人)としてふさわしい業務を進め、保護者等相手が安心感・信頼感をもつことができるように対応する。	学⑦保Q13 肯定率90%以上 学⑦教Q28 肯定率90%以上	
学校施設、教育環境、準備室等の点検・改善(老朽化対策、美化)を行う。	月に1回以上安全点検実施	

#### 5 【特別活動・その他】

方 策	数値目標	結果
学級活動において、生徒の主体的・意欲的な活動を推進する。	学⑦生Q1 肯定率87%以上	
体育的行事(体育祭・長距離走記録会等)・文化的行事(文化祭・美術展示等)を組織的に運営し、生徒の主体的な活動を計画的に実施する。	全学年集団行動の演目等実施 全学年舞台発表の実施 全学年美術展示(廊下等)	

校外学習、宿泊行事等の校外での学校行事を組織的に運営し、安全に校外での活動を計画・実施するとともに、集団活動の大切さを理解させ、生徒の主体的な活動を計画的に推進する。	学⑦保Q14 肯定率 90%以上	
部活動をとおして、生徒の主体性を養い、音楽等芸術活動やスポーツの技能の向上を目指すとともに集団行動を学ぶ。	各部活動、各大会・発表会等への参加回数 2 回以上	
地域に向けて生徒の活躍を発信する機会を持つ。	「good news」 4 記事以上 投稿 学校だよりでの生徒の活躍した記事を 20 以上掲載	
年間 30 日以上欠席がある生徒を減らし、生徒が笑顔で登校できる機会を提供する。	年間 30 日以上欠席がある生徒を 20%減	